

口腔機能管理特論（森本 佳成）

Advanced Course of the Management of Oral Function（Yoshinari Morimoto）

キーワード

- ① 口腔機能管理
- ② 周術期
- ③ 要介護高齢者
- ④ 生体管理
- ⑤ 摂食嚥下支援

関連する学位授与方針  
DP(ディプロマポリシー)

①,②,③,④,⑤

関連する教育実施方針  
CP(カリキュラムポリシー)

①,②,③,④,⑤,⑥

授業概要

全身疾患を有する患者および高齢者では、自立して十分な口腔機能管を行うことが困難である。一方、口腔疾患と全身疾患との関連についてのエビデンスが蓄積され、日常生活や周術期における口腔機能管理が重要視されている。本講義では、周術期および要介護者の口腔機能管理により改善または予防できる全身疾患について、高齢者歯科学および麻酔科学等を専門とする教員が、それぞれの視点から専門的な解説を行うとともに、論文講読および議論を通して専門的な知識・態度・技能を修得することを目標とする。

授業科目の学習目標

本科目では、口腔疾患と全身疾患の関連について、多くの医学分野から提供される証拠(エビデンス)に基づいて検証するとともに、実際の口腔機能管理の医学的背景を理解することにより、現状の医歯学連携の課題を抽出し、解決するために必要な大学院レベルの知識を修得することを目標とする。

授業計画

- ① 口腔疾患と全身疾患との相互関連－基礎医学・臨床医学および社会医学的検証
  - ・口腔疾患と循環器系疾患との関連 7コマ 森本佳成
  - ・口腔疾患と呼吸器疾患との関連 2コマ 森本佳成
  - ・口腔疾患と糖尿病との関連 2コマ 森本佳成
  - ・全身疾患および薬剤が口腔に及ぼす影響 5コマ 森本佳成  
(血液疾患、免疫不全、骨粗鬆症、悪性新生物、等)
- ② 生体に影響を及ぼす口腔内微生物の病因論－基礎医学および臨床医学的検証 4コマ 森本佳成
- ③ 口腔機能管理の理論的検証
  - ・周術期口腔機能管理 5コマ 森本佳成
  - ・要介護高齢者の口腔機能管理 5コマ 森本佳成

教科書および参考書

- ① 森戸光彦、山根源之、他編:高齢者歯科学 第2版 医歯薬出版
- ② 相山加綱:有病高齢者歯科治療のガイドライン上・下 クインテッセンス
- ③ 才藤栄一、植田耕一郎、編:摂食嚥下リハビリテーション 第3版 医歯薬出版
- ④ Little JW, Falace DA, et al.: Dental management of the medically compromised patient, 9th ed. MOSBY 2018.

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

授業計画の各項目では、すでに修得した基礎的知識を土台にして、各領域の関連論文および書籍を批判的に熟読し、各項目の理論的背景および課題を議論することを通して、より高度な知識の理解が求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 基礎医学・臨床医学・社会医学の各分野から、口腔疾患と全身疾患との関連について説明できる。
- ② 口腔内微生物が生体に及ぼす影響について基礎医学の面から説明できる。
- ③ さまざまな状況での口腔機能管理の理論的背景および課題を説明できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
40%	0%	0%	30%	0%	30%	0%

評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を判定する。1回40%
- ・成果発表は、①～③の中から各1項目について成果を発表する。10%×3回=30%
- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い、知識の理解度を判定する。1%×30回=30%

理想的な達成レベルの目安

口腔機能管理特論の理想的な達成レベルは70%以上とする。